

弘済会とやま

教育振興事業のご案内

令和5年度版



夢ひろがる子どもたちのために



公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

はじめに

教職員の皆さま方には、日頃から大変お世話になり、ありがとうございます。

今年度も、日本教育公務員弘済会富山支部では、教育振興事業の応募がしやすくなるよう弘済会とやま『教育振興事業のご案内』を作成しましたのでお届けします。まずは手に取ってご覧いただき、その後お手元に置いてご活用いただければ幸いです。

さて、本年度から新しくなった表紙について説明します。表紙に描かれているイラスト画は、小学校、中学校、高等学校へと夢や希望を追い求めて、健やかに成長していく子どもたちの様子を表しています。

子どもはどの子も等しく、ぎゅっと手を握りしめて生まれてきます。そして、その握りしめられた手の中には、将来の夢や希望が抱かれています。手のひらを広げた瞬間にその夢や希望は見えなくなってしまうそうです。

子どもたちは先生や友だちと出会い、先生の教えのもと、友だちとの学びを大切にしながら、自ら目標をもって努力したり新しいことに果敢にチャレンジしたりすることで、自分が生まれたときに握りしめていたはずの夢や希望を追い求めていきます。才能や個性を伸ばしながら歩み続ける子どもたちの姿なのです。

また、柔らかな題字の弘済会とやまは、“ぬくもり”のある教育を子どもたちと共に創りあげておられる“とやま”の先生方に、少しでも弘済会の事業が役立つことができればありがたいという、私たち弘済会富山支部の想いを込めたものです。

夢ひろがる子どもたちのために、今後とも、教職員の皆さまに末永くご愛顧いただける事業を展開してまいりますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



☆公益事業であります教育振興事業は、全教職員を対象に、「公募申請」「選考」「結果の公表」「成果の報告」の4つの過程を踏み事業を展開しています。

【協力】

イラスト画：濱井 理先生（富山県教職員）

題 字：青山拓也先生（富山県教職員）

令和5年4月吉日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部

選考について

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部

1 選考方法

- (1) 日教弘富山支部教育振興事業選考委員会の選考後、富山支部幹事会の議を経て支部長が対象団体(者)を決定します。
- (2) 結果は文書で各種団体(者)に連絡します。なお、選考の理由に関わる問い合わせには回答しません。

2 「経営改善助成」「課題研究助成」の選考基準

- (1) 現代の教育課題を適切に取り上げているか。
- (2) 教育課程上適切に位置付けられ、授業の改善に資するものとなっているか。
- (3) 園児・児童・生徒の主体的な変容・発達の姿が見られるか。
- (4) 理論と実践が一体となった研究であるか。
- (5) その研究内容は価値が高く、他の学校でも活用できるか。

3 「教育団体研究助成」の選考基準

- (1) 事業の公益性・社会性 申請事業が、十分な公益性・社会性を有したものであるか。
- (2) 事業の適正性 申請事業が、助成の趣旨と合致しているか。
事業予算の設定が過大なものでないか。
- (3) 事業の必要性 課題、ニーズを的確に把握しているか。
- (4) 事業の実現性 申請事業の実施方法は適切で、実現可能な計画が立てられているか。

4 「教育研究大会助成」「教育助成」「現職研修助成」「文化振興助成」の留意事項

- (1) 各事業の助成要件を確認の上、申請してください。
- (2) 申請者(共同者を含む)の人件費、飲食費は助成しません。

5 「奨学事業」の留意事項

- (1) 奨学生募集要項(貸与・給付)を確認の上応募してください。
- (2) 奨学金貸与希望者に対しては、当支部にて説明の上直接必要書類を渡します。
本人又は保護者の方がお越しくください。

助成の対象にならないもの	助成対象外とする費用
1 営利目的又は営利につながる可能性の大きいもの	1 申請者本人の人件費等
2 他の機関からの委託によるもの	2 汎用性のある機器等の購入費
3 既に終了しているもの	3 懇親会等の飲食費
4 自己の財源によりできるもの	4 直接関係がない物品等

弘済会富山支部ホームページが 新しくなります。



令和5年4月1日 公開予定

教職員に幸せを運ぶ

新キャラクター『よつば先生』誕生！

夢ひろがる富山の 子どもたちのために

情報を分かりやすく掲載！

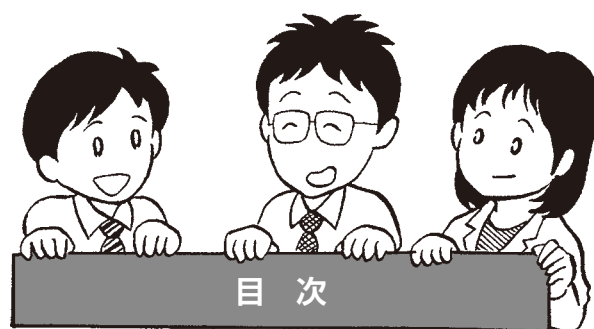


よつば先生

「愛犬リーア」
〈よつば先生のペット〉

送 付 先

新住所 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内
公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部宛
TEL(076)464-3703



頁	
PART 1	教育研究助成事業
1	はじめに
2	選考について
3	富山支部ホームページ、送付先
7	令和5年度 教育団体研究助成要項
8	教育団体研究助成申請書 [様式]
9	教育団体研究助成申請書〈記入例〉
10	教育団体研究助成報告書 [様式]
11	教育団体研究助成報告書〈記入例〉
12	情報の窓 I 令和4年度 教育振興奨励助成贈呈式から
13	令和5年度 教育研究大会助成要項
14	教育研究大会助成申請書 [様式]
15	教育研究大会助成申請書〈記入例〉
16	教育研究大会助成報告書 [様式]
17	教育研究大会助成報告書〈記入例〉
18・19	令和5年度 経営改善助成要項
20	経営改善助成（学校部門・個人部門）申請書 [様式]
21	経営改善助成（学校部門・個人部門）申請書〈記入例〉
22	経営改善助成申込書 [様式]
23	経営改善助成申込書〈記入例〉
24	経営改善助成（論文）の書き方
25	経営改善助成 ア：要旨様式例①
26	経営改善助成 イ：本文様式例①
27～31	経営改善助成論文例
33	令和5年度 課題研究助成要項
34	課題研究助成申請書 [様式]
35	課題研究助成申請書〈記入例〉
36	課題研究助成申請書・報告書 [様式]
37	課題研究助成申請書・報告書〈記入例〉
38	課題研究助成報告書 [様式]
39	課題研究助成報告書〈記入例〉

40	課題研究助成報告書例 * 『令和4年度 実践報告集』から
41	令和5年度 教育助成要項
42	教育助成申請書 [様式]
43	教育助成申請書〈記入例〉
44	教育助成報告書 [様式]
45	教育助成報告書〈記入例〉
46	教育助成報告書例
47	令和5年度 現職研修助成要項
48	現職研修助成申請書 [様式]
49	現職研修助成申請書〈記入例〉
50	現職研修助成報告書 [様式]
51	現職研修助成報告書〈記入例〉
52	情報の窓Ⅱ [文化講演会] 令和4年度「富山の魅力発見講座Ⅴ」に参加して
PART2	教育文化事業
53	令和5年度 文化振興助成要項
54	文化振興助成申請書 [様式]
55	文化振興助成申請書〈記入例〉
56	文化振興助成報告書 [様式]
57	文化振興助成報告書〈記入例〉
58	令和5年度 文化講演会「富山の魅力発見講座Ⅵ」要項
PART3	奨学事業
59	令和5年度 貸与奨学生募集要項
60	貸与奨学金申込書
61	令和5年度 給付奨学生募集要項
62	給付奨学生申請書 [様式1]
63	高等学校等給付奨学生推薦書(学校用)[様式2]
64	給付奨学生成果報告書 [様式3]
65	令和5年度 大学給付奨学生(予約型) 募集要項
66・67	令和5年度 大学給付奨学生(予約型) 申請書
68	令和5年度 大学給付奨学生(予約型) 推薦書
[福祉事業]	
69	令和5年度 教弘保険加入者特典のいろいろ
70	受給申請書



クローバー博士

PART 1

教育研究助成事業

☘ 教育団体研究助成	7
☘ 教育研究大会助成	13
☘ 経営改善助成	18
☘ 課題研究助成	33
☘ 教育助成	41
☘ 現職研修助成	47

令和5年度 教育団体研究助成要項

教育団体研究助成は、教育の振興に寄与すると認められる団体の特に有益な研究・活動に対し助成を行う事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

2. 助成要件

(1) 助成の趣旨

富山県の園長会、校長会、教頭会、教育研究会等の団体が令和5年度に行う、有益な研究・活動を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。

(2) 応募対象

教育関係団体及び教育研究団体

① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。

② 1年間（4月1日から3月31日）で完了する研究・活動等とします。

(3) 応募期間 令和5年4月3日（月）～令和5年5月31日（水）

(4) 助成金額 各団体からの申請に対し事業規模等を考慮し、30万円以内の助成を行います。

(5) スケジュール

令和5年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果を通知します。

10月下旬 贈呈（表彰）式を開催します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

3. 申請について

(1) 「教育団体研究助成申請書」と「団体の会則」及び「役員名簿」、「前年度の会計報告書」等の資料を添えて申請してください。

(2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。

(3) 適正に取得した個人情報等を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

4. 選考基準について

2ページにある「選考について」の選考基準により、選考を行います。

5. 報告について

(1) 研究・活動等の終了後に経過・結果等に関する報告を提出してください。

(2) 領収書（コピー可）も必ず添付してください。尚、領収書は助成額以上となるようお願いします。

(3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成果資料等があれば添付してください。

6. 報告の提出日 令和6年2月29日（木）までに提出してください。

7. 送付先（問い合わせ先） 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL (076)464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

〒

所在地

団体名

TEL () -

代表者

職 名

氏 名

職印

教育団体研究助成申請書

下記のような研究活動を実施するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

記

1. 活動趣旨（概要）

2. 組織概要

構成職種

構成人員

他団体との連携

3. 申請金額

4. 主な内訳

※飲食費等は助成の対象になりません。詳しくは2ページ参照

5. 添付書類

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

〒 930-△△△△

所在地 富山市〇〇町-△△

団体名

TEL (076) △△△ - △△△△

代表者

職名 会長

氏名 魚津 一郎

職印

教育団体研究助成申請書

下記のような研究活動を実施するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

記

1. 活動趣旨（概要） 富山県〇〇教育の振興及び研修……資質向上を図る。

2. 組織概要

構成職種 富山県小・中学校長

構成人員 △△△名

他団体との連携 富山県〇〇会、東海・北陸地区〇〇会

3. 申請金額 △△△円

4. 主な内訳 会誌作成 △△△円

5. 添付書類 ※総会資料、全体研修資料等（事業計画・収支予算が明記されているもの）尚、現時点で未作成の場合は、前年度のものを提出してください。

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

教育団体研究助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地

団体名

代表者 職 名

氏 名

職印

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

助成金額	
活動期間	
研究活動の概要	
助成金の使途明細	<p>※飲食費等は助成の対象になりません。</p> <p>(計 円)</p>

教育団体研究助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 富山市〇〇町－△△

団体名 富山県小学校長会

代表者 職 名 会長

氏 名 魚津 一郎

職印

連絡先(TEL) 〇七六－〇〇〇－〇〇〇〇

下記のとおり領収書を添えて報告します。

助成金額	△△△円
活動期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
研究活動の概要	<p>1 研究主題 新たな知を拓き、人間性豊かな社会を築く、日本人の育成を目指す小学校教育の推進 —主体的・共同的に学び、心豊かに未来を生き抜く児童を育成する学校経営—</p> <p>2 研修内容と成果 別紙 「令和5年度研究紀要」参照</p>
助成金の使途明細	<p>・研究紀要の印刷製本費 △△△円</p> <p>※飲食費等は助成の対象になりません。 (計 △△△円)</p>

〈添付書類〉 ・領収書(コピー可)別紙(A4用紙等)に貼付してください。
・成果資料「研究大会のまとめ」等



令和4年度 教育振興奨励助成贈呈式から
令和4年10月26日 会場：高志会館



弘済会富山支部 支部長 青木 正邦
〔式 辞〕



教育振興事業選考委員会 委員長 神川 康子 様
〔励ましのことば〕



富山県教育委員会 教育次長 中崎 健志 様
〔励ましのことば〕



富山県立新川みどり野高等学校 校長 高島 由順 様
〔お礼のことば〕



〔教育団体研究助成〕 贈呈



〔課題研究奨励賞〕 贈呈

令和5年度 教育研究大会助成要項

教育研究大会助成は、本県を会場とする教育にかかる全国大会及びこれに準ずる大会、また、文部科学省、県教委、市町村教委、幼・小・中・高校教育研究団体の指定による大会、並びにこれに準ずると認められる大会の開催に当たり、その内容と大会規模に応じて予算の範囲内で助成を行う事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

2. 助成要件

(1) 助成の趣旨

富山県の教育関係団体及び教育研究団体が令和5年度に行う、有益な研究大会を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。

(2) 応募対象

教育関係団体及び教育研究団体

① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。

② 1年間(4月1日～3月31日)で完了する研究・活動等とします。

(3) 応募期間 令和5年4月3日(月)～令和5年5月31日(水)

※選考委員会後に応募を希望される場合には、連絡をお願いします。

(4) 助成金額 大会規模に応じて、3万円～5万円程度の助成を行います。

(5) スケジュール

令和5年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果を通知し助成します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

3. 申請について

(1) 「教育研究大会助成申請書」と「計画資料」を添えて申請してください。

(2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。

(3) 適正に取得した個人情報等を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

4. 選考基準について

2ページにある「選考について」の留意事項等により、選考を行います。

5. 報告について

(1) 大会の終了後に経過・結果等に関する報告を提出してください。

(2) 領収書(コピー可)も必ず添付してください。尚、領収書は助成額以上となるようお願いします。

(3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成果資料(「研究大会のまとめ」等)があれば添付してください。

6. 報告の提出日 大会終了後2か月以内に提出してください。

7. 送付先(問い合わせ先) 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL (076)464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

団体名

TEL () -

代表者

職 名

氏 名

職印

教育研究大会助成申請書

下記のように研究大会を開催するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙「計画資料」を添えて申請いたします。

記

1. 大会名

2. 開催期日

3. 主催者名

4. 後援者名

5. 参加者数 () 名 主催スタッフ () 名

6. 大会費用

7. 主な内訳

※飲食費等は助成の対象になりません。

8. 計画資料（別紙）

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 936-△△△△

所在地 滑川市〇〇町△-△

団体名 〇〇教育〇〇協議会(〇〇小学校内)

※諸団体で学校に事務局等がある場合は
学校名も記入してください。

TEL (076) △△△ - △△△△

代表者

職 名 会長

氏 名 朝日 一郎

職印

※団体名の代表職名を記入（例：会長、実行委員長等）

※団体名が学校の場合は、校長としてください。

教育研究大会助成申請書

下記のように研究大会を開催するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙「計画資料」を添えて申請いたします。

記

1. 大会名 第△△回〇〇教育〇〇研究大会

2. 開催期日 △△年△年△日(木)～△日(金)

3. 主催者名 〇〇教育〇〇協議会

4. 後援者名 〇〇〇〇会

5. 参加者数 (△△△) 名 主催スタッフ (△△) 名

6. 大会費用 △△△円 ※前年度実施の場合、参加者数がわかる資料等を添付してください。

7. 主な内訳 会議費 〇〇〇円

※飲食費等は助成の対象になりません。

8. 計画資料（別紙）

※「大会案内」も添えてください。申請時に「大会案内」が出来上がっていない場合は、作成後に提出してください。

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

教育研究大会助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地

団体名

代表者 職 名

氏 名

職印

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

大会名	
大会開催日	
助成金額	
研究実践の概要	
助成金の 使 途 明 細	(計 円)

教育研究大会助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 滑川市〇〇町△-△
 団体名 〇〇教育〇〇協議会(△△小学校内)
 代表者 職 名 会長
 氏 名 朝日 一郎 職印
 連絡先(TEL) 076-〇〇〇-〇〇〇〇

下記のとおり領収書を添えて報告します。

大会名	第△△回〇〇教育〇〇研究大会
大会開催日	△年△月△日(木)～△日(金)
助成金額	△△△円
研究実践の概要	<p>1. △月△日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演Ⅰ 「演 題」 ・ 講師：〇〇 〇〇先生(〇〇大学教授) ・ 協議内容 <p>2. △月△日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選択講座Ⅰ 「講座名」 ・ 選択講座Ⅱ 「講座名」 ・ 講師：〇〇 〇〇先生(〇〇大学教授)、〇〇 〇〇先生(〇〇大学教授) <p>3. まとめ</p>
助成金の 使 途 明 細	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師謝金 △△△円 ・ 会場使用料 △△△円 <p style="text-align: right;">(計 △△△ 円)</p>

〈添付書類〉 ・ 領収書（コピー可）別紙（A4用紙等）に貼付してください。

・ 成果資料「研究大会のまとめ」等

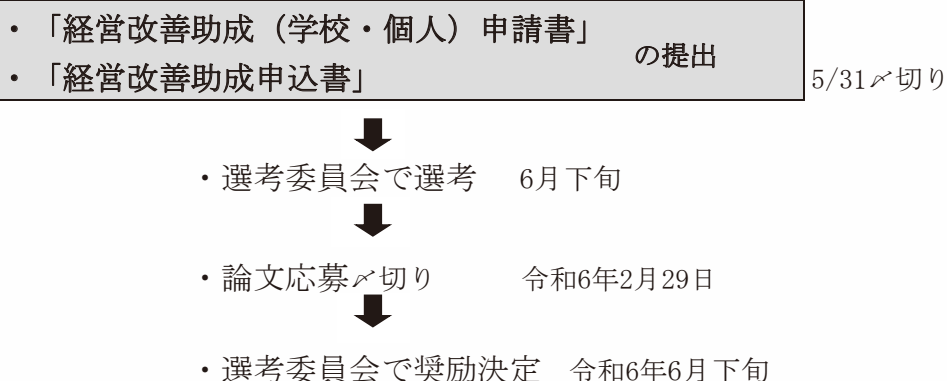
令和5年度 経営改善助成要項

研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組んでいる学校や個人(学年、教科、部会等のグループを含む)に対して助成を行うことを通して学校教育の向上発展に寄与します。

主催 公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部

応募概要

1. 応募の流れ



2. 応募部門

① 学校部門[学校、教育機関等の教育研究団体]

☆所属長(校長等)を対象

(内容)

学校経営等(特色ある学校づくり、教職員の資質向上、地域の教育資源の活用等)

- 【例】 「地域に愛着と誇りをもち、主体的に行動する児童の育成」(小学校)
「個に応じた支援体制の構築」(中学校)
「人間関係力をもとにした確かな学力と進路意識の向上を目指して」(高校)
「働く力を高める地域貢献活動の実践」(特別支援学校)

『日教弘教育賞教育研究集録より』

② 個人部門[学校や教育機関等に勤務する個人(研究グループを含む)]

☆所属長以外の教職員を対象 ※個人部門の申請には所属長の推薦が必要です。

(内容)

個人(グループ)研究等(学年・学級経営、教材開発、生徒指導、特別支援教育等)

- 【例】 「児童の意欲を引き出す体育の授業を考える」(小学校)
「いじめを生まない学級づくり」(中学校)
「やってみたい」を形にして、生徒の主体的な学びを引き出す指導(高校)
「知的障害児と指導者が共に参加できる余暇活動の在り方」(特別支援学校)
「アクションカードを使った、教職員救急救命研修」(養護教諭)

『日教弘教育賞教育研究集録より』

3. 応募方法

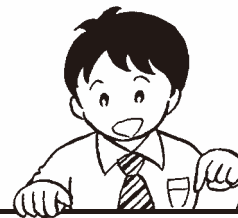
- ①各校につき、学校部門1件、個人部門(研究グループ含む)1件、合わせて2件まで応募できます。
- ②5月31日必着で「経営改善助成申請書」と「経営改善助成申込書」を添付して応募してください。
- ③教育振興事業選考委員会で助成を決定します。決定校(者)は、令和6年2月29日(木)までに論文(要旨1枚、本文A4・4枚8,000字余り)を提出してください。

4. 選考基準 2ページにある「選考について」の選考基準により、選考を行います。

5. 奨励

【応募】 学校部門(5万円) 個人部門(3万円)

【表彰】 学校部門と個人部門の区別なく奨励



最優秀賞(30万円)……………1編
優秀賞(20万円)……………2編
優良賞(10万円)……………3編
個人奨励賞(3万円)* ………5編程度

*個人部門の応募論文の中で、最優秀、優秀、優良賞以外で優れている論文を奨励します。

6. その他 ●奨励金は10月下旬の贈呈式で贈ります。また、優秀な論文は2月発刊の『実践報告集』に掲載します。
- 適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

送付先(問い合わせ先)

〒939-8084 富山西中野町1-1-18 オフィス西中野内
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部
TEL:076-464-3703 FAX:076-464-9818
E-mail:toyama.2@nikkyoko.or.jp

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

所属名

職 名

氏 名

職印 (印)

経営改善助成（学校部門・個人部門）申請書

下記のような研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組みたく、「経営改善助成申込書」を添えて申請します。

記

研究テーマ

〈個人部門〉のみ記入

上記の申請者を、経営改善助成者に推薦いたします。

所属名

所属長

職印

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

所属名 砺波市立〇〇中学校

職 名 教諭（校長）

氏 名 上市 二郎

職印 (印)

※ 「学校部門」は職印、「個人部門」は私印をお願いします。

※いずれかを○で囲んでください。

経営改善助成（学校部門・個人部門）申請書

下記のような研究テーマをもって経営上の工夫・改善に取り組みたく、「経営改善助成申込書」を添えて申請します。

記

研究テーマ

学年のよさを発揮し、共に高め合う学年づくり
-〇〇を通して-

※ 「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究テーマを決めて論文をまとめることとします。

〈個人部門〉のみ記入

上記の申請者を、経営改善助成者に推薦いたします。

※ 「個人部門」の申請には所属長の推薦が必要です。

所属名 砺波市立〇〇中学校

所属長 校長 舟橋 一郎

職印

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

経営改善助成申込書

年 月 日

申請者 (申請部門を○で囲んでください)	学校部門	(団体名)
		(代表者名)
	個人部門	(所属名)
		(個人名又はグループ名) ※グループの場合は代表者名 (メンバー 名)
研究テーマ		
研究テーマ設定の理由		
テーマに基づく研究実践の内容		
研究計画		

経営改善助成申込書

年 月 日

<p>申請者</p> <p>(申請部門を○で囲んでください)</p>	<p>学校部門</p>	<p>(団体名)</p> <p>-----</p> <p>(代表者名)</p>
	<p>個人部門</p>	<p>(所属名) 砺波市立〇〇中学校</p>
		<p>(個人名又はグループ名) 上市 二郎</p>
		<p>※グループの場合は代表者名 (メンバー 名)</p>
<p>研究テーマ</p>	<p>学年のよさを発揮し、共に高め合う学年づくり</p> <p>—〇〇を通して— ※「経営改善申請書」の研究テーマと一致させる。</p>	
<p>研究テーマ設定の理由</p>	<p>・学年主任としてリーダーシップを発揮し、可能性を広げようとする……</p> <p>※理由・問題意識等</p>	
<p>テーマに基づく研究実践の内容</p>	<p>・課題を明確にする……</p> <p>・教師の連携……</p> <p>・学年経営の改善……</p> <p>※仮説設定及び本研究で取り組もうとしていること。</p>	
<p>研究計画</p>	<p>※助成の対象にならないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの。 ・他団体に応募（推薦含む）ずみの内容のもの。 ・本助成応募後、選考中に発表したもの及び他団体に応募（推薦含む）した内容のもの。 	

経営改善助成(論文)の書き方

1 論文の提出締切日 令和6年2月29日(木)

2 論文の作成について

論文の作成は、原則として一太郎又はワード等を使用してください。

指定の原稿用紙はありません。下記のとおり設定の上、論文等を提出してください。

ア 要旨(別紙ア参照) 本部「日教弘教育賞」様式に準じます。

様式は48字×43行×1段組×A4判ページ横書き(フォントサイズ10.5)とします。

執筆者の氏名・所属学校・役職・研究主題・研究の要旨等をまとめてください。

イ 本文(別紙イ参照) 本部「日教弘教育賞」様式に準じます。

様式は24字×43行×2段組×A4判4ページ横書き(フォントサイズ10.5)とします。

図表・写真等の資料を掲載する場合はA4判1ページ程度以内の分量に収めてください。

※ 要旨を必ず付けてください。

(ア・イをセットにし、ホチキス止めしたものを8部提出ください)

3 論文の書き方

(1) 論文は横書きとします。

(2) 文字は常用漢字、新かなづかいを使用してください。

(3) 本文1ページ目の6行分(段組み左右)を用いて下記のとおり印字してください。

※学校名・団体名・グループ名及び役職・氏名の欄には下記のとおりお書きください。

①学校の場合は、学校名及び校長名

②グループの場合は、グループ名及びその代表者役職・氏名

(4) 小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。

(レイアウト等については『実践報告集』を参考にしてください。)

(5) 写真・図表等の留意点

掲載する写真・図表は、『実践報告集』作成時に図表等が見にくくならないようにご配慮下さい。

論文内に貼り付け、またはデジタルカメラで取り込んで完成したものにしてください。

また、審査終了後、電子データにて論文の提出をお願いする場合があります。

4 論文提出後のことについて

(1) 優秀論文は印刷製本のうえ、助成記録として保存します。

(2) 助成校・助成者に一部ずつ贈呈します。

(3) 各学校・区市町村教委・関係機関へ贈呈配布します。

1. 所属校

富山県立新川みどり野高等学校

2. 役職

校長

3. 氏名

高島 由順

4. 研究主題

生徒個々の実態に即した支援（指導）体制の構築を目指して

5. 研究副題

（なし）

6. 研究の要旨

本研究は、富山県立新川みどり野高等学校（以下、本校）において、卒業後の就労を見据えた生徒の支援や指導内容について、さらなる支援（指導）体制の充実が必要であると強く感じたことにより取り組むこととした。

本校の就労に向けた取り組みは、これまで基本的には進路指導部が担い、発達障害を抱えるなど一般就労が困難な生徒については保健厚生部（教育相談）が連携協力して行っている。進路指導部は卒業年次の半年間、「進路研究」の授業の中で、進路選択や面接練習など進路に関わる様々な分野における指導を、必要に応じて外部講師も招きながら計画的に実施しており、進学や就職等の受験が近くなるにつれて授業以外でも多くの時間を使って個別指導を実施している。保健厚生部については、日頃の学校生活上の問題解決を目指した支援や、若干名の生徒を対象にした週2時間のSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）等を目的とする通級指導や、卒業後に就労支援センターへ繋げるための準備を行ってきた。

本校の生徒について、中学校時に不登校を経験していた、学力が著しく低い、発達障害を抱えているなど、抱えている困難は多岐にわたっているケースが見られる。特に発達障害を抱えた生徒は近年増加傾向にあり、発達障害の内容も様々である。こうした生徒については、目安として入学後の半年間は実態把握の期間とし、その後、担任や年次、保健厚生部、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等で連携し、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成して支援体制を構築している。また、定期的にケース会議を実施し、関係職員が情報共有しながら新たな支援方針を提案したり、必要に応じて関係医療機関と連携したりしながら対応を進めている。しかし本校の生徒の実態は、前述のとおり多岐にわたっているうえ、近年は特に生徒自身の自己理解が進んでいないために適切な進路選択ができなかったり、就職した生徒の離職率が高かったりするのが現実である。

こうした実態を踏まえて、新たな支援策として、進路指導部や保健厚生部だけでなく1年次の段階から卒業年次までを通して、学校全体として体系的な支援体制の構築が求められている。そのためには、まず現在の取り組みについて、その有効性を改めて詳しく検証するところから始め、現状の問題点及び改善点を洗い出さなければならない。その検証結果に基づいて、具体的な支援（指導）体制の構築の端緒を見出すことが本研究のねらいである。

生徒個々の実態に即した支援（指導）体制の構築を目指して

富山県立新川みどり野高等学校
校長 高島 由 順

1 はじめに

本校は、昼間Ⅰ部・昼間Ⅱ部・夜間の3部制及び前期・後期の2期制をとり、普通科と福祉教養科からなる定時制単位制高校である。全校生徒は113人で、男女比及び卒業後の進学・就職は概ね半々である。本校に在籍する生徒のうち、不登校経験や発達障害を抱える割合が近年顕著な増加傾向を示しており、学校全体として生徒個々の実態に即した組織的な支援（指導）体制の構築が課題となっている。平成30年度から開始された通級指導については、本年度から専任の通級指導員が配置され、きめ細かい指導が行われているが、通級対象生徒以外にも困難を抱える生徒は多数在籍している。

近年、特に問題となっているのは、就職した本校卒業生の職場への定着度である。高卒で就職した生徒の離職率について、富山県の平均が20%（就職後3年以内の数値～富山県キャリア支援教育アドバイザーの調査による）であるのに対し、本校の卒業生は就職後3年以内で32.3%、就職後5年以内では42.6%（本校進路指導部の調査による）と高い数値を示している。

本校生徒の就業状況について、就職先企業等から本校進路指導部に報告のあった内容を踏まえると、

- ・少人数集団での学校生活に慣れているため、一般的な集団生活での経験不足が見られることがある
- ・対人関係の構築スキルが乏しい生徒の割合が比較的大きい
- ・社会人として働く上での基本的なスキル（例えば無断で遅刻しないなど）が欠如しているケースがある

といった本校生徒の実情が、離職率の高さに影響を及ぼしている可能性も十分考えられる。

2 研究主題

本校ではこれまでに、生徒の抱える個々の課題の把握、卒業後「働く社会人」として必要な基本的スキルの定着、体験活動の充実等に取り組んできた。本研究に取り組むに当たって、まずは、これまでの支援内容につい

て効果を改めて検証し、有効な内容の充実を図りながら、一方で課題を明確化しなければならない。検証結果を踏まえて、生徒個々の実態に即した支援（指導）体制の構築をどのように目指すべきかについて考察し、改善の端緒とすることが本研究の主題である。

3 これまでの取組の概要

昨年度及び本年度にかけて、本校の生徒支援（指導）に対する取組の概要は、以下の通りである。

3.1 生徒の実態把握と情報共有及び研修

前述の通り、本校の生徒の実態は、不登校（中学校以前の経験含む）、低学力、発達障害を抱えている等広範に及び、その支援（指導）内容也多岐に渡る。こうした状況に対応するためには、生徒の正確な実態把握と教職員の共通理解が重要である。そこで、以下の①と②に取り組んだ。

- ① 特別支援対象生徒の「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に関する様式及び情報共有の改善
- ② 教職員全員を対象にした研修会や共通理解の場を多く設定

①に関して、「個別の教育支援計画」については県統一書式を使用しているが、「個別の指導計画」については、当該生徒に関わる全ての教職員で活用方法を見据えて検討した本校独自の様式を作成し使用してきた。担任・年次主任・授業担当者・ホームルーム活動担当者・スクールカウンセラー・通級担当者等は、対象生徒の活動内容に即した指導計画並びにその成果や課題を、学期毎に意見交換し記録している。

昨年度は、生徒の個人情報を整理し、実態把握の際の効率化を図った。本校はこれまで、保健室・年次・担任・保健厚生部など、それぞれが関係する情報を個々に保管してきたが、それらの情報を統一した様式で電子データ化し、教職員が共有しやすくなるように改善した。データは、「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」、「(中学校時の)個別の教育支援計画」、「服薬状況」、「カ

ウンセリング記録]、「健康面における配慮事項」、「ケース会議記録」、「個別の実態把握表（学習面・行動面・対人関係・進路希望）」、「プロフィールカード（入学時に調査する心と身体の状況）」等である。これにより、支援（指導）に結びつく情報を、必要とする教職員がすぐを知ることができるようになった。また、貴重な情報が活用されないまま埋もれてしまうことが顕著に減少し、教職員の業務の短縮化にも繋がった。

②について、本校では特別支援に関する知識や支援方法に不安を抱える教職員が多かったため、全教職員を対象にした研修会等を多く設けた。以下は、昨年度から本年度にかけて実施した研修会等の一部である。

- ・『今年度のケース会議の実施方法について』（保健厚生部）
- ・『「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の記入方法について』（保健厚生部）
- ・『今年度の特別支援対象生徒について～実態把握と支援内容、共通理解事項の確認等』（保健厚生部）
- ・『合理的配慮について』（外部講師）
- ・『発達障害の理解』（本校スクールソーシャルワーカー）
- ・『特別な支援を必要とする生徒の就労支援について』（通級担当者）
- ・『発達障害を抱える生徒の社会的コミュニケーションの問題と困難』（外部講師）

このように、研修機会が充実するにつれ、教職員全体の情報共有も円滑になった。その結果、特別支援教育に関する教職員の意識が高まるとともに、ある生徒の学力や不登校の原因に発達障害が関係しているのかといった議論や、ある生徒の支援で可能な合理的配慮についてなどの情報交換が、職員室内で日常的に行われるようになりつつある。

3.2 生徒が自分の実態を把握する取組

本校の生徒は、集団生活におけるさまざまな経験が不足している等の理由により、自分の能力を客観的に把握できない傾向が見られる。このような状況では、教職員やスクールカウンセラーなどから指導を受けても何のための指導なのか理解できず、効果も減少してしまうと考えられる。そのため、実態把握の場面では、教職員だけでなく生徒自身が自分の実態を客観的に捉える必要がある。自己理解の低さを生徒自身が客観視し見つけ直す取組として、本年度「みどり野ライフスキルチェック」を試験的に作成した。このチェックは、「生

活リズムと規律」、「自己信頼とセルフケア」、「対人関係」、「問題解決」、「感情対処」、「目標設定と自己成長」などの分野における全30項目で構成され、本校のスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・通級担当者等の意見を取り入れた。項目は難易度順にステップ1からステップ3までの3段階とし、卒業時まで全てのスキルを習得することで、ようやく社会人として必要なライフスキルが整う事に繋がっていくよう構成されている。

本年度は生徒1人1台タブレット端末が配備されたこともあり、生徒がタブレットを使用しながら手軽に回答及び集計できるよう改善し、いくつかのクラスで試験的に実施した。以下は、本年度試験的に実施したライフスキルチェックの集計結果である。

～「みどり野ライフスキルチェック」の実践例～

本年度は1年次の2クラス（計17名）、3年次の1クラス（4名）の合計21名に対し、30項目のライフスキルについて試験的に実施した。集計では、年次が進むにつれて低くなるスキル、あるいは年次に関わらず低いスキルなど興味深い結果が得られた。ただし、1年次と3年次で比較する人数に大きな差があり、特に3年次は母集団が4名と少ないことから、本格実施に向けた参考の域を出ない点は考慮しなければならない。

以下の数値は、各項目において、「できる」・「まあまあできる」と回答した生徒の集計結果である。なお「スキルが高い・低い」の基準は概ね50%を目安とした。

年次進行につれて伸びるスキル項目		
1年次・3年次とも	0項目	
年次に関係なく高いスキル項目	1年次	3年次
他者への感謝を表せる	88%	100%
素直に謝ることができる	82%	100%
自分の感情を理解している	88%	75%
怒っていても感情を抑えて相手と話ができる	88%	75%
自分の乗り越えるべき課題を知っている	65%	100%
自分の感情の変化やその原因がわかる	82%	100%
自分で休みを確保できる	82%	100%
年次に関係なく低いスキル項目	1年次	3年次
様々な職業を知っている	53%	50%
欠席や遅刻をしない	47%	25%

職業や進路先の適性を考えている	65%	50%
欠席は年間5日以内である	41%	0%
年次進行につれて低くなるスキル項目	1年次	3年次
係や行事に参加している	82%	25%
身だしなみを整えている	82%	50%
自分の気持ちを他者に伝えられる	81%	0%
失敗しても再び挑戦できる	65%	25%
自分の間違いを許せる	94%	50%

集計結果から、本校生徒の特長や課題として、

- ・在学中のソフトスキルの向上が見られない
- ・自分自身の感情や克服すべき課題を理解している
- ・職業に関する知識に乏しく、勤労意欲も低い
- ・一度失敗すると再挑戦する意欲が低くなる

というケースがあるのではないかとと思われる。

次年度は、全校生徒を対象により細かい比較検討ができるよう、実施環境を整えていきたい。いずれにしても、生徒自身が何に困難を感じ、どこで躓いているのかという実態把握を的確に行い、自律又は自立しようとする意欲を高めるような取組を、学校全体として支援（指導）していくことが重要である。

3.3 ケース会議の充実

日々変化する生徒の実態を教職員で共有し支援（指導）方法を検討するため、ケース会議の実施回数を増やすよう調整を図った。ケース会議の参加者は、担任・年次主任・スクールカウンセラー・授業担当者・通級担当教員・進路指導部・保健厚生部（特別支援担当）等であり、必要があれば参加範囲を広げる拡大ケース会議という形をとることもある。1回のケース会議は1人の生徒を対象に30分程度で実施し、様々な立場からの多角的な視点に基づいてケース会議の回数を重ねることにより、一定の成果が見られた。ただし、支援対象生徒の増加もあり、当初目標としていた月1回以上の実施には至らず、運営面が次年度以降の課題となった。

～生徒Aの実践例～

生徒Aは自閉症とADHDであり、対人関係や家庭内での日常生活における困難を抱えている。支援目標と手立ては、「日常生活で有効なコミュニケーション能力を身に付けられるよう、様々な場面のシミュレーションを通じて理解すること」である。

生徒Aの対人関係の問題は、「特に高校に入学してか

ら、友人とのコミュニケーションの中で、今まで経験したことのない困惑を感じる場面が増えた。その際、自分の考え方がおかしいのか、相手に常識がないのかが自分では分からない」という内容であった。そこで、スクールカウンセラーによるSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）を継続的に行った結果、過去のほとんどの場面で生徒Aは間違った判断をしておらず、相手側に問題があったことが分かってきた。それと並行して生徒Aは、「人には様々なものの考え方があり、それらを少しずつ受け入れる意識を持つようにする」ことを心掛けるようになった。半年程度こうしたSSTを繰り返したことで、現在では日常生活ではほぼ問題がない程度に他者とのコミュニケーションがとれるようになっている。

3.4 支援室の環境整備

昨年度までは、特別指導のための専用教室を固定的に確保していないなど環境整備が不十分であったが、本年度改善に着手した。まず、通級担当者など特別支援を担当する教職員が常駐する支援室の整備を図り、通級指導教室とした。また、通級の授業でICTを活用できるようにネットワーク環境を整備した。こうした改善により通級指導の運営が効率化すると共に、通級指導員の常駐により、生徒が都合の良い時間に支援室に来て、相談したりSSTを行ったりすることが可能になった。ただし、担任との連携は必ずしも円滑であったとは言えず、運用面で改善を図る必要がある。

3.5 「模擬作業体験」や「就業体験」の充実

本校では働く社会人として必要なハードスキルの向上を目指して、地元の企業と連携して就業体験を実施している。特に昨年度は、県内の就労支援センター（以下、支援センター）と連携して、「模擬作業体験」を1年次の全員及び他年次の希望者を対象に実施した。

この体験では、「ピッキング（指示書を見ながら指定された品目を速く正確に袋詰めをする）」、「領収書作成（リストを見ながら宛名や日付等を速く正確に記入する）」、「電卓計算（リストを見ながら金額を計算し、所定の用紙に記入する）」等の作業を行い、様々な作業能力を数値化することができる。作業能力は、「正確性」、「スピード」、「指示理解」、「集中力」、「報告連絡相談」の5項目を、それぞれ10段階の数値で評価する。

以下は参加した一部の生徒の評価を表にまとめたものである。

生徒	正確性	スピード	指示理解	集中力	報連相	総合
A	5	8	6	6	7	32
B	6	9	8	6	6	35
C	8	4	7	8	7	34
D	5	5	6	6	5	27
E	9	8	10	8	10	45
平均	7.7	8.0	8.0	8.5	7.9	40.1

※平均は、本校生徒の平均値

この評価結果を知ること、生徒自身が自分の得意な分野や課題を知ったり、ハードスキルそのものの高さを知ることができたりする。また、教職員にとっても生徒の実態把握に大きく役立つ。作業能力は学力と必ずしも比例するものではなく、教職員が漠然と予測していた当該生徒の作業能力とは全く異なる評価（高評価あるいは低評価）が多くみられた。

なお、実施後は支援センター職員による保護者面談も実施した。体験に参加した生徒や保護者の事後アンケートからは、

- ・今まで気付かなかった自分の得意又は不得意なスキルを知ることができた（生徒）
- ・今後進路を選択する上で、評価表の数値を参考にした（生徒）
- ・「自分の子に対する困り感」を専門家に相談できた（保護者）
- ・就労支援に関する知識が高まった（保護者）

等の感想が寄せられた。また、面談の際には、教員から保護者にうまく説明できない生徒の実態についても、支援センターの職員は専門的な立場から明確に伝えることが可能なケースも見られ、保護者の子に対する理解という面でも大いに役立った。今後もこの体験活動を継続して実施すると共に、同じ生徒が継続して体験した結果の分析等も年次進行で蓄積を図り、ハードスキルの向上の変容等について調査していきたい。

4 成果と課題

昨年度から本年度にかけて、生徒の実態を的確に把握し情報共有する体制の構築、生徒理解のための研修会等の充実、生徒が自分を客観的に認識するためのライフスキルチェック、各種体験作業の分析結果を本人及び保護者と共有するなど、教職員が生徒の抱える困難をできるだけ的確に把握し共有する取組は着実に前進している。

昨年度から実践してきた様々な方策の効果を上げるためには、周囲だけでなく生徒自身が自分の実態を把握している必要がある。実態把握のために作成した「みどり野ライフスキルチェック」は、本年度は少人数での試行にとどまったが、高いスキル項目と低いスキル項目を洗い出すことができたため、身近の弱点克服などの指導に生かせることがわかった。しかし「年次進行につれて伸びるスキル項目」については測定できず、年次とともに何がどのように伸びていくかを捉えるまでには至らなかったことが残念である。

様々な課題を抱える本校生徒にとって、入学から卒業まで一貫した指導が重要であると考え本校としては、全校生徒を対象にしてライフスキルチェックを実施し、過年度比較を踏まえた指導を行うことにより、これまで実施してきた取組、具体的には、

- ①生徒の実態を的確に把握し情報共有する体制の構築
- ②生徒理解のための研修会等の充実
- ③本人及び保護者との各種体験作業の分析結果の共有がより効果的になるものと確信している。

一方、生徒の抱える複雑な問題の解決には、学校内の特定の分掌や年次が個々に対応していたのでは限界があり、その克服が課題であると明確になった。

その解決方法として、本校としては、

- ・校内の各分掌組織を必要に応じて横断的に連携させ、きめ細かく支援（指導）できる体制の構築を図る
- ・特別支援学校と連携した研修等を模索し、指導上参考になりそうな取組内容について、意見交換の場を設ける
- ・外部機関、特に就労支援施設等との連携を充実し、生徒の支援について専門的な立場からの助言を得られるよう連携を進展させる

等が挙げられると考えている。

本校に在籍する全ての生徒が、本校卒業後も就職先や進学先、また、地域において自分の力で人間関係を適切に構築し、社会の一員として生活していけるよう、支援（指導）体制の構築を継続的・計画的にさらに前進させていきたい。

参 考 文 献

梅永雄二（2014）.『自立をかなえる！＜特別支援教育＞ライフスキルトレーニングスタートブック』. 明治図書出版.

MEMO

Dotted lines for writing

令和5年度 課題研究助成要項

今日的課題を掲げて研究実践に取り組む30歳以下の教職員に対して助成を行う事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

2. 助成要件

(1) 助成の趣旨

- ・今日的な課題を掲げて取り組む教育実践報告を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。
- ・申請に対し、1名につき5千円を助成します。

(2) 応募対象

国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する30歳以下の教職員とします。尚、31歳以上の新規採用教職員は、3年次まで対象とします。

(3) 応募期間 令和5年4月3日(月)～令和5年5月31日(水)

- ・「課題研究助成申請書」を提出してください。
- ・「学校票」も提出願います。なお「学校票」はホームページWeb申請フォームに添付して提出してください。
- ・様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。

(4) スケジュール

- 令和5年6月下旬 教育振興事業選考委員会で応募選考を行います。
- 7月上旬 応募選考結果を通知し助成します。
- 11月30日 所定の様式で研究報告を提出してもらいます。
- 令和6年6月下旬 教育振興事業選考委員会で審査を行います。
- 8月下旬 受賞結果を通知します。
- 10月下旬 贈呈(表彰)式を開催します。

(5) 研究助成報告書提出

所定の様式(36・38頁参照)で令和5年11月30日(木)までに提出してください。

(6) その他

- ・会報「教弘とやま」と「実践報告集」に助成者名を掲載いたします。また、優秀賞の報告書20編も「実践報告集」に掲載します。
- ・適正に取得した個人情報をご当会の教育振興事業の運営のために利用します。

3. 審査 教育振興事業選考委員により審査します。

選考委員…学識経験者、富山県教育委員会並びに小・中学校、高校の各校長会に選考委員を依頼します。

4. 選考基準 2ページにある「選考について」の選考基準により、選考を行います。

5. 奨励 優秀賞 3万円(20件) 優良賞 1万円(30件)

6. 送付先(問い合わせ先) 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 Tel(076)464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

所属名

職 名 ()

第 () 学年

ふり がな
氏 名

Ⓜ (歳)
(年次)

課題研究助成申請書

下記の課題をもって研究実践に取り組みたく、助成を申請いたします。

記

研究課題

上記申請者を課題研究助成者に推薦いたします。

所属名

所属長

職印

[申請にあたっての注意事項]

・提出された報告書については返却しません。

[個人情報の取扱いについて]

・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者

所属名 富山県立〇〇高等学校

職名 (教 諭)

第 (2) 学年

※ 「ふりがな」を必ず記入してください。

氏名 ふり がな たて やま 立 山 かおり 香

Ⓜ (28 歳)
(年次)

※ 31歳以上の新規採用教職員で、3年次までの方は記入してください。

課題研究助成申請書

下記の課題をもって研究実践に取り組みたく、助成を申請いたします。

記

研究課題

生徒一人一人のよさを引き出す授業の工夫

※ 「研究課題」はできるだけ簡潔にお願いします。

上記申請者を課題研究助成者に推薦いたします。

所属名 富山県立〇〇高等学校

所属長 校長 富山 一郎

職印

[申請にあたっての注意事項]

・提出された報告書については返却しません。

[個人情報の取扱いについて]

・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

課題研究助成申請書・報告書(学校票)

年 月 日

[記入者] 職名・氏名

番号	所属名	職名	氏名	研究課題
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
9				
10				

『学校票』は、年2回提出(HPからダウンロードしたExcelシートに入力したデータ)願います。

- 1回目「課題研究助成申請書」の提出時
- 2回目「課題研究助成報告書」の提出時 ※変更があれば修正して

【提出方法】 1回目、2回目ともに、ホームページのWeb申請フォームに添付して提出してください。

※シートのタイトルは「〇〇市・△△中・課題研□名」

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

課題研究助成申請書・報告書(学校票)

年 月 日

[記入者] 職名・氏名

番号	所属名 14ポイント	職名 14ポイント	氏名 14ポイント	研究課題 14ポイント
1	氷見市立〇〇小学校	教諭	立山 亮介 <small>なつやま りょうすけ</small>	主体的に学ぶ子供の育成
2	同上	教諭	〇〇〇〇	児童一人一人のよさを生かす
3	※ 連絡をとる場合がありますので、記入をお願いします。	養護教諭	〇〇〇	児童が健康に関心をもつ保健室経営
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※ 氏名の確認のため
ふりがなを入れてください。

※ 姓と名の間は半角
開けてください。

※ 申請時は、できるだけ広いテーマで提出
すると取り組みやすいと思われれます。

※ 10名以上の場合は、
行を追加して提出してくだ
さい。

※ 申請時と研究課題の内容を変更した場
合、報告時に修正して提出してください。な
お、確認のため変更がなくても再度提出願
います。

『学校票』は、年2回提出(HPからダウンロードしたExcelシートに入力したデータ)願います。

- 1回目「課題研究助成申請書」の提出時
- 2回目「課題研究助成報告書」の提出時 ※変更があれば修正して

【提出方法】 1回目、2回目ともに、ホームページのWeb申請フォームに添付して提出してください。

※シートのタイトルは「〇〇市・△△中・課題研□名」

課題研究助成報告書

(研究課題)

1 課題設定の理由

2 研究実践

3 研究の成果

4 今後の課題

課題研究助成報告書

A4判1枚（余白は上20mm, 下25mm, 左右20mm）

44字（MS明朝 10.5P）

(研究課題)	(MSゴシック14P) <u>枠で囲む</u>	3 行
学校名・学年・職・氏名（MS明朝 10.5P）		

1 課題設定の理由（MSゴシック10.5P）

（本文はMS明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角[A]）

- ・実態等

↓ 空けない

2 研究実践（MSゴシック10.5P）

（本文はMS明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角[A]）

37
行

- *図表・写真等を掲載する場合もこの1枚に収める。
- *文字数、行数の多少の増減は可。

↓ 空けない

3 研究の成果（MSゴシック10.5P）

（本文はMS明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角[A]）

- ・解明されたこと

↓ 空けない

4 今後の課題（ゴシック 10.5P）

（本文はMS明朝 10.5P 数字は半角 アルファベットは半角[A]）

- ・残された問題点

身体全体を使って造形活動に取り組むことで、主体的に学習する子供の育成 — 第2学年図画工作科「海の中の生きもの」の実践から —

富山市立堀川小学校・第2学年・教諭・長谷川 仁義

1 課題設定の理由

本年度、2年生を担任することになった。子供たちは、これまでの経験を基に学習への意欲をもちながら、新しいクラスで仲間との関わりや自分の存在感を求めていこうとしている。そんな子供たちが、身体全体を使って造形活動に取り組むことで、自分の造形への思いを深め、仲間の作品や仲間の存在を確かに感じ、大切にしながら主体的に学習しようとしていくことを願い、本課題を設定した。

2 研究実践 — 第2学年図画工作科「海の中の生きもの」 —

(1) 子供が身体全体を使って活動に浸ることのできる材と場の設定

海の中の生物は実に多様な形や色を有している。海の深度によってもその形や色は異なり、深海の生物や海洋の生物、熱帯魚等それぞれが多様で特徴的な形や色をしており、子供の造形を包みこむ懐の深さがある。本題材では3階の階段から1階まで、階段を活動場所として設定した。第1時では、3階から1階に向けて深い海に潜っていくことを子供が実感するよう、教師はシュノーケルを身に付けながら活動場所を案内し、場の設定の理解を図った。また、壁面に白模造紙を貼り、明度を変えた青系色の共同絵の具を用意した。子供たちは海の深度による色遣いを工夫し、青の中に様々な色があることを体感することで色に気付いたり、活動場所としての「海」を自分のイメージで作り上げたりすることができた。

Nさんは、深さのある活動場所の設定から海のイメージを確かにしながら、広いキャンバスに身体全体を使って色をのせた。絵を描くことに苦手意識をもっていたNさんだったが、浅い海で活動を続け、浅い海ならではの明度の高い海の色や鮮やかな色をもつ魚を描く活動に取り組む中で、水彩絵の具の出す色の違いに気付き、意欲的に色と関わり、色の面白さを感じる事ができた。このように、深海の暗い色を塗ったり、深海魚を描いたり、浅い海で明るい色や海洋魚を描いたりするなど、それぞれの造形活動が展開された。



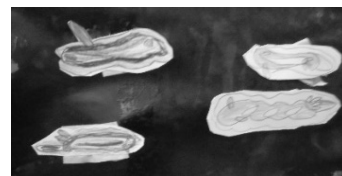
今日、3階で色を混ぜて塗っていました。多めの白と、ほんっと少しの水色と青の色を混ぜて、水を普通より少なめで、そしたらただの水色のうすいものでした。今度は、青を少しだけ足してやりたいです。そしたら、どうなるかな。楽しみだな。色って面白いんだなあ。

【N児の作品の一つと5月18日(火)活動後のノート】

(2) 子供が自分の願う活動に取り組むための指導・支援の工夫

本題材では、毎回の活動後に思ったことや、次へに向けて考え始めていることをノートに書いて残していった。子供たちは蓄積されていくノートを読み返すことで、前回の活動を振り返り、目当てをもって活動に取り組むことができた。また、海の中の生物の図鑑を数冊置いたり、Chromebookで画像検索をしたりした。

Yさんは、初めはなかなか作品を作り出さず、活動場所を歩き回るだけだった。しかしYさんのノートを読んでみると、仲間の活動や作品、図鑑や画像等を見て、仲間の凄さや生き物の色、形を感じていたことが分かった。そこから、Yさんは能動的に鑑賞活動をしているのだと捉え、Yさんと仲間の作品について語り合ったり、見付けたことについて褒めたりすることを続けた。そして題材の中盤に、教室に設置したウミウシの図鑑を手「私ウミウシつくる」と話したのであった。それまでほとんど作品を作らなかったYさんだったが、この時から休み時間も使いながら、意欲的にウミウシを描いていった。仲間からの刺激をもらいながら、じっくりと自分の表したいことを考えるといったYさんならではの取り組み方だったと考える。このように、多くの子供が自分らしく活動を進められるための材料を設置した上で、一人一人の願うことを活動中の姿やノート、日々のくらしから総合的に指導・支援していく。そうすることで子供は自分らしい歩みで学習に取り組むことができる。



【Yさんの作品の一部】

3 研究の成果

- ・題材の特性を生かした場の設定を工夫することで、子供は身体全体を使って主体的に造形活動に取り組むことができる。
- ・その子の願う造形活動を喚起するための指導・支援を行うことで、子供は自分らしい歩みで活動に取り組む。また、そうした経験の積み重ねが、子供の主体性を育むと考える。

4 今後の課題

- ・様々な場所で子供たちは活動していた。そのため子供一人一人の活動の様子や作品づくりの過程等における声かけや支援のタイミングを逸することがあった。

令和5年度 教育助成要項

校内研修の活性化及び特色ある学校づくりにかかる費用への助成を行う事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

2. 助成要件

(1) 助成の趣旨

- ・ 令和5年度に行う校内研修や特色ある学校づくりにかかる費用への助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。
- ・ 申請に対し1校につき3万円を助成します。

(2) 応募対象

小学校、義務教育学校、特別支援学校（小学部）

(3) 応募期間 令和5年4月3日(月)～令和5年5月31日(水)

(4) スケジュール

令和5年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果を通知し助成します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成を掲載します。

3. 申請について

- (1) 「教育助成申請書」を提出してください。
- (2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。
- (3) 適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

4. 選考基準について

2ページにある「選考について」の留意事項等により、選考を行います。

5. 報告について

- (1) 研修内容と成果、助成金の主な用途についての報告を提出してください。
- (2) 領収書（コピー可）も必ず添付してください。尚、領収書は助成額以上となるようお願いいたします。
- (3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成果資料等があれば添付してください。

6. 報告の提出日 令和6年2月29日(木)までに提出してください。

7. 送付先(問い合わせ先) 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL(076)464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 氏

所在地

Tel () -

学校名

校長名

職印

教育助成申請書

下記のように研修を行うに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、ここに申請いたします。

研修テーマ	
研修にかかる教材・教具等とその費用	
使用計画・概要	

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 938-△△△△

所在地 黒部市〇〇町△△

Tel (0765) △△ - △△△△

学校名 黒部市立〇〇小学校

校長名 校長 射水 一郎

職印

教育助成申請書

下記のように研修を行うに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、ここに申請いたします。

<p>研修テーマ</p> <p>主体的に学習に取り組み、共に高め合う子供の育成</p>	
<p>研修にかかる教材・教具等とその費用</p> <p>・ ホワイトボード 1枚 △△△円 ・ 講師謝金 △△△円</p> <p>・ 〇〇学習教材 △△△円</p>	
<p>使用 計画 ・ 概要</p>	<p>・ 〇〇を活用し、〇〇学習の活動に役立てる。</p> <p>・ 〇〇するために使用する。 等</p> <p>※<u>助成の対象にならないもの</u></p> <p>・ 研修に直接関係がない品物など。</p> <p>※児童・生徒が使用する場合は、汎用性のある機器（デジタルカメラ・ビデオカメラ等）であっても助成対象となります。</p>

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

教育助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

学校名

校長名

職印

連絡先(TEL)

下記のとおり「領収書」を添えて報告します。

実践研修テーマ
現状（課題）とテーマ設定の理由
実施期間
研修内容と成果
助成金の主な用途

教育助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

学校名 黒部市立〇〇小学校

校長名 校長 射水 一郎

職印

連絡先(TEL) 〇七六-〇〇〇-〇〇〇〇

下記のとおり「領収書」を添えて報告します。

<p>実践研修テーマ 若手教職員の指導力向上を・・・・・・・・・・</p>
<p>現状（課題）とテーマ設定の理由 今年度は、昨年度の研修を・・・・・・・・・・</p>
<p>実施期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日</p>
<p>研修内容と成果 (1) 研修内容 ・ ・ (2) 成果 ・ ・</p>
<p>助成金の主な用途 ・〇〇制作費 ・講師謝金 等 計 △△△円</p>

〈添付書類〉・領収書（コピー可）を別紙（A4用紙等）に貼付してください。

教育助成報告書

令和4年12月12日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

学校名 富山市立藤ノ木中学校

校長名 鍋田 敬一 職印

下記のとおり「領収書」を添えて報告します。

実践研修テーマ

確かな学力の定着と互いに認め合う心をはぐくむ生徒の育成
－主体的・対話的で深い学びをめざして－

現状（課題）とテーマ設定の理由

本校では「確かな学力の定着」に課題が見られるため、今年度は授業力の向上を目指し、校内研修を行った。学校訪問研修、各種公開授業研修（富山市教育センター主催初任者授業研修や2年次授業研修、中学校教育研究協議会東部地区大会理科部会）に向けた校内授業研修（互見授業研修）、講師を招聘した校内授業研修を中心に、授業の具体的な場面を捉えた研修を進めることとした。

研修内容と成果

(1) 研修内容

視点1 生徒の学習意欲を高める課題設定

視点2 学びを深める手立ての工夫

(2) 成果

- ①「課題」「確認」「振り返り」のマグネットシートを全授業で共通して使用している。生徒が考えたくなる課題を設定したり、授業での学びを自覚させる時間を確保したりする意識が高まった。
- ②生徒が自分の考えを客観的に捉え、表現する手立てを工夫している。例えば、理科の実験場面において現象をモデルで表現したり、保健体育科の球技の試合後には、作戦盤を用いて自分たちの動きを確認し、作戦を立てたりした。考えたくなる課題を意図的に設定し、タイミングを見計らって話し合いの場を設けることで、生徒の学びに新たな気付きや深まりが生まれた。
- ③講師を招聘した校内研修では、講演前に講師と校内の教員が提案授業を参観したことで、授業の具体的な場面で共通理解を図りながら講演を聴くことができた。「各教科における思考力・判断力を鍛える授業づくり」の演題で講演をいただき、生徒が「これならやれそう」「やってみたい」と思う学習課題や学習活動をどう設定していくか学ぶことができた。普段の授業づくりに対する意識の変化が見られた。



【理科の授業の様子】



【保健体育科の授業の様子】



【講師を招いた校内研修】

助成金の主な用途

講師謝金3万円（講師：福井大学教育学部言語教育講座国語教育学准教授萩中奈穂美先生）

令和5年度 現職研修助成要項

学校経営の一翼を担い、学習指導や生徒指導等に今日的な課題を掲げて研修に取り組む団体及びグループからの申請に対して、事業規模と内容に応じて助成する事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会 富山支部

2. 助成要件

(1) 助成の趣旨

富山県の教育関係団体及び教育研究団体が令和5年度に行う、有益な研修を対象として助成することで学校教育の向上発展に寄与します。

申請に対し1件につき3万円を助成します。

(2) 応募対象

教育関係団体及び教育研究団体

① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。

② 1年間(4月1日から3月31日)で完了する研究・活動等とします。

(3) 応募期間 令和5年4月3日(月)～令和5年5月31日(水)

(4) スケジュール

令和5年5月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果を通知し助成します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

3. 申請について

(1) 「現職研修助成申請書」を計画資料と団体(グループ)の規約を添えて提出してください。

(2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。

(3) 適正に取得した個人情報をご当会の教育振興事業の運営のために利用します。

4. 選考基準について

2ページにある「選考について」の留意事項等により、選考を行います。

5. 報告について

(1) 研修内容と成果、助成金の主な用途についての報告を提出してください。

(2) 領収書(コピー可)も提出してください。尚、領収書は助成額以上となるようお願いします。

(3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成果資料等があれば添付してください。

6. 報告の提出日 令和6年2月29日(木)までに提出してください。

7. 送付先(問い合わせ先) 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 Tel (076) 464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 干

所在地

団体名又はグループ名

Tel () ー

代表者 職 名

氏 名

職印

現職研修助成申請書

下記のように研修事業を展開するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

記

1. 事業名
2. 開催期日
3. 主催者名
4. 後援者名
5. 参加者数及び内訳
6. 助成金(3万円)の主な内訳
7. 総事業費
8. 計画資料(別紙)
9. 組織規約(別紙)

※飲食費は認められません。

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 932-△△△△

所在地 南砺市〇〇町△△

団体名又はグループ名

〇〇中学校区小中連携推進研究会

TEL (0766) △△ - △△△△

代表者 職 名 会長、委員長、代表等

※ 「校長」とはなりません

氏 名 氷見 一郎

職印

現職研修助成申請書

下記のように研修事業を展開するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

記

1. 事業名 〇〇中学校区小中連携推進事業
2. 開催期日 令和5年4月～令和6年3月
3. 主催者名 〇〇中学校区小中連携推進研究会
4. 後援者名 特になし
5. 参加者数及び内訳 △△名(〇〇中△名、〇〇小△名、〇〇小△名、〇〇小△名)
6. 助成金(3万円)の主な内訳 資料作成 〇〇〇〇円
※飲食費は認められません。
7. 総事業費 △△△円
8. 計画資料(別紙)
9. 組織規約(別紙)

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

現職研修助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地

団体名又はグループ名

代表者 職 名

氏 名

職印

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

事 業 名	
開 催 期 日	
助 成 金 額	
研修内容と 成 果	
助 成 金 の 使 途 明 細	(計 円)

現職研修助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 南砺市〇〇町△△
 団体名又はグループ名 〇〇中学校区小中連携推進研究会
 代表者 職 名 会長
 氏 名 氷見 一郎 職印
 連絡先(TEL) 〇 7 6 6 - 〇 〇 - 〇 〇 〇 〇

下記のとおり領収書を添えて報告します。

事業名	〇〇中学校区小中連携推進事業
開催期日	令和5年△月～令和6年△月
助成金額	△△△円
研修内容と成果	<p>1 研修内容</p> <p>2 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の接続を図ったり…………… ・小・中学校相互の授業参観及び研究会への参加……………今後、連携の在り方について一層の工夫が必要である。
助成金の 使 途 明 細	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 △△△円 ・会場使用料 △△△円 <p style="text-align: right;">(計 △△△円)</p>

〈添付書類〉 ・領収書（コピー可）別紙（A4用紙等）に貼付してください。

・成果資料「研究会資料」等



教育文化事業報告

富山の魅力発見講座Ⅴに参加して

講師：元ディズニーキャスト 川田直子氏
日時：令和4年7月28日(木)・29日(金) 10:00～
場所：フェルヴェール本店



★ 前向きに働くために

富山市立藤ノ木小学校
栄養教諭 幅口 友貴

今回の講座の中で一番印象に残っているのは、「前向きに働く」というフレーズです。脳の特性を活用して自分にプラスの言葉かけをすることが、物事を前向きに捉え、楽しく仕事することに繋がるということでした。講座の中で、マイナスイメージの言葉をプラスの言葉に言い換えるという活動があったのですが、私はなかなか思い浮かばず、苦戦しました。私自身、栄養教諭という仕事をしている中で、一人での業務が多く、自分の殻に閉じこもり、ネガティブになりがちです。また、世間の風潮として「仕事＝大変」という考えをもつ人も多くいると思います。しかし、「本当に大変なのか」とまずは自分を疑い、「いや、まだできる」と自分を信じることで、前向きに働くことができると学びました。

今回得たことを生かし、今後は仕事が終わったあとは「疲れた」ではなく、「今日も1日頑張った」と思えるように仕事をしていきたいです。

★ 富山の魅力発見講座で学んだこと

南砺市立福光中学校
養護教諭 黒河 宏美

今回の講座に参加させていただいて、自分自身が普段使っている言葉について考えさせられました。川田さんの講話では、普段使っている言葉が自分自身に最も影響を与えると知りました。脳は否定と肯定の区別なく受け止めてしまうため、やってほしいことをそのまま言葉に伝えたり、ネガティブな言葉をプラスに変えたりしていくことで、前向きに考えることができるとのことでした。実際にプラスの言葉を使おうとしてみてもなかなか思いつかず、普段からプラスの言葉を使おうとする意識をもつことの大切さに気がきました。

また川田さんは、時間を作り出すために意識して「暇だ」と言葉にすること、言葉にした結果仕事を任せられたときは「自分の力になる」ととらえていると聞きました。前向きな思考は物事に取り組むときのエネルギーになると思います。まずは前向きな視点を意識することから過ごしていきたいです。

★ 前向きに働くということ

高岡市立福岡小学校
教諭 石野 友希

「廊下は走りません」ではなく、「歩きましょう」と言葉かけをすると児童の行動が改善される。」教員課程を学ぶ学生時代によく耳にしました。川田さんのご講話は、このような「プラスの言葉かけ」を今はどのくらいできているか、教員生活を振り返る大変よい機会となりました。否定語を使うことも少なくないことを反省した上で、自分の生活のなかでもリフレーミングすることの大切さを感じました。さらに充実した教員生活を送り、プラスの言葉が飛び交う学級を運営するためにも、意識せずともポジティブな解釈ができるようになることを目指したいと思いました。

また、株式会社セイアグリーシステム伊勢豊彦会長のセイアグリー健康卵にける熱い思いを伺いました。鶏舎に異常が見られたら夜中であっても遠方まで駆けつけたり、卵づくりへの理想を貫徹したりと、伊勢会長の姿勢に胸を打たれました。効率的に働くことを意識しながらも、子供達の成長を楽しむという姿勢で熱い思いをもって指導していきたいと感じました。

★ みんなが笑顔で過ごせるように

富山市立八尾中学校
教諭 高田 櫻

東京ディズニーリゾートでは、相手の感情を丁寧に受け止め、相手が求めるサービスを提供することに力を入れているという話が印象に残っています。

学級の中には、思いを主張できる生徒だけでなく、思いを伝えられず息苦しさを感じている生徒もいます。学級担任として、笑顔があふれ、居心地のよい学級を作っていくために、相手が何を求めているのか、言葉や表情、仕草等、表面的な部分を観察することはもちろんですが、先入観に囚われず、見えない部分も見抜いていく力を磨いていきたいと感じました。自分をしっかり理解してくれるという安心感は、心地よさに繋がっていくと思います。

生徒のために今よりももっと洞察力を磨き、向上心をもって仕事に励んでいきます。



愛犬リーフ

PART 2

教育文化事業

✿ 文化振興助成	53
✿ 文化講演会「富山の魅力発見講座」	58

令和5年度 文化振興助成要項

青少年の健全な育成を目的とした、文化・芸術・スポーツの振興に資する事業、並びにこれに準ずると認められる事業の展開にあたる教育関係団体等からの申請に対して、事業規模と内容に応じて助成する事業です。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

2. 助成要件

(1) 助成の趣旨

- ・富山県の教育関係団体等が令和5年度に行う青少年の健全な育成を目的とした、文化・芸術・スポーツの振興に資する有益な事業を対象とした助成を通して学校教育の向上発展に寄与します。
- ・申請に対し1件につき5万円程度を助成します。

(2) 助成の対象にならないもの

- ① 営利目的、または営利につながる可能性の大きいもの
- ② 他の機関からの委託によるもの
- ③ 既に終了しているもの

(3) 応募対象

教育関係団体等（学校、非営利団体、グループ）

- ① 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び報告を行うことを条件とします。
- ② 1年間（4月1日から3月31日）で完了する研究・活動等とします。

(4) 応募期間 令和5年4月3日（月）～令和5年5月31日（水）

(5) スケジュール

令和5年6月下旬 教育振興事業選考委員会で選考を行います。

7月上旬 採否の結果を通知し助成します。

11月中旬 会報「教弘とやま」に助成一覧を掲載します。

3. 申請について

- (1) 「文化振興助成申請書」を計画資料と団体の規約を添えて提出してください。
- (2) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。
- (3) 適正に取得した個人情報等を当会の教育振興事業の運営のために利用します。

4. 選考基準について

2ページにある「選考について」の留意事項等により、選考を行います。

5. 報告について

- (1) 活動内容と成果、助成金の主な用途についての報告を提出してください。
- (2) 領収書（コピー可）も必ず添付してください。尚、領収書は助成額以上となるようお願いします。
- (3) 様式は弘済会富山支部ホームページからダウンロードしてください。また、成果資料等があれば添付してください。

6. 報告の提出日 令和6年2月29日（木）までに提出してください。

7. 送付先（問い合わせ先）〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 TEL (076) 464-3703

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 下

所在地

団体名

Tel () -

代表者

職 名

氏 名

印

文化振興助成申請書

下記のように文化事業を展開するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

記

1. 事業名
2. 開催期日
3. 主催者名
4. 後援者名
5. 参加者数及び内訳
6. 総事業費
7. 計画資料（別紙）
8. 組織規約（別紙）

文化振興助成の活動【例】

小学校

- ・地域のゲストティーチャーと活動するクラブ活動
- ・ふるさと大好き“ふるさと学習”
- ・豊かな体験活動で学ぶ心を育てる

中学校

- ・生徒会活動で地域にアタック
- ・外部講師に学び、国際感覚を育てる

高等学校

- ・地域に根ざしたSDGsの取り組み

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部（以下当会という）は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

申請者 〒 933-△△△△
所在地 高岡市〇〇-△
団体名 高岡〇〇教育文化研究会
Tel (0765) 33 - 0000
代表者
職名 会長
氏名 入善 一郎 印

文化振興助成申請書

下記のように文化事業を展開するに当たり、その目的達成のため助成いただきたく、別紙計画資料を添えて申請いたします。

記

1. 事業名 第△△回 〇〇展覧会
2. 開催期日 令和5年△△月△△日(木)～△△月△△日(月)
3. 主催者名 高岡〇〇教育文化研究会
4. 後援者名 富山県小中〇〇研究会 ※ない場合は「なし」と記入
5. 参加者数及び内訳 1,000名(教職員100名、児童生徒300名、保護者600名)
6. 総事業費 △△△円
7. 計画資料(別紙) ※様式は自由(①活動内容②経費内訳が分かるもの)
8. 組織規約(別紙) ※学校の場合は、「学校要覧」のコピー等(組織が分かるもの)

[個人情報の取扱いについて]

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の教育振興事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

文化振興助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地

団体名

代表者 職 名

氏 名

印

連絡先(TEL)

下記のとおり領収書を添えて報告します。

事 業 名	
開 催 期 日	
助 成 金 額	
活 動 内 容 と 成 果	
助 成 金 の 使 途 明 細	(計 円)

文化振興助成報告書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部長 様

所在地 高岡市〇〇-△

団体名 高岡〇〇教育文化研究会

代表者 職 名 会長

氏 名 入 善 一 郎

印

連絡先(TEL) 0766-〇〇-〇〇〇〇

下記のとおり領収書を添えて報告します。

事業名	第△△回 〇〇展覧会
開催期日	令和5年△△月△△日(木)～△△月△△日(月)
助成金額	△△△円
活動内容と成果	1. 活動内容 (1) (2) (3) 2. 成果 ・ ・
助成金の 用途明細	・会場費 △△△円 ・表彰盾 △△△円 (計 △△△円)

〈添付書類〉 ・領収書（コピー可）別紙（A4用紙等）に貼付してください。

・成果資料「活動のまとめ」等



学校登山に新しい発想を
あらためて知ろう! 立山の歴史・文化・自然

日 時 ※ 両日とも 10:00~14:00 講座内容は同じです

第1回 7月28日 (金) 第2回 7月29日 (土)

場 所



富山地铁ホテル11階
アルシェフ
会議室・ホール
富山市桜町1-1-2
TEL 076-442-8154



福江 充 講師

立山博物館副主幹・学芸員、高志の国文学館副主幹・学芸員を経て、現在、北陸大学国際コミュニケーション学部教授。立山信仰研究の第一人者。

[講話1]

講座 I 10:00~11:30

『今につながる立山の歴史と文化(仮)』

[体験]

講座 II 11:40~12:30

『富山の食彩ビュッフェ(仮)』

雄大な立山連峰を見ながら、富山ならではの食材についての話を聞きながら、実際に食事をします。



[講話2]

講座 III 12:40~14:00

『我が登山人生と立山の魅力(仮)』

参加対象

35歳以下の県内教職員

定 員

各回25名

参加費

無料

佐伯 知彦 講師

立山を知り尽くした男と言われた佐伯平蔵のひ孫、登山ガイド。2019年に県民として初めてエベレスト登頂。



申込について

5月上旬に参加申し込み用のチラシを配付しますので、QRコード、FAXで申し込みをしてください。

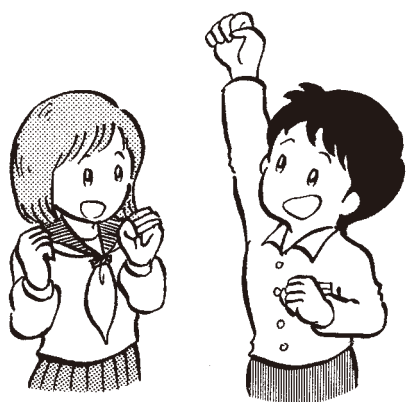
【これまでの講座紹介】 参加ありがとうございます。

2017年 富山の魅力発見講座 I 50名参加	高志の国文学館	講師：米原 寛 氏 (元富山県立博物館長)
2018年 富山の魅力発見講座 II 62名参加	㈱能作本社	講師：能作 千春 氏 (産業観光部長)
2019年 富山の魅力発見講座 III 61名参加	呉羽ハイツ	講師：川田 直子 氏 (元ディズニーキャスト)
2020年 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
2021年 富山の魅力発見講座 IV 62名参加	八尾観光会館	講師：原井紗友里 氏 (八尾の若女将)
2022年 富山の魅力発見講座 V 45名参加	フェルヴェール本店	講師：川田 直子 氏 (元ディズニーキャスト)



公益財団法人
日本教育公務員弘済会富山支部

〒939-8084 富山県富山市西中野町1-1-18 (オフィス西中野内)
TEL 076-464-3703 FAX 076-464-9818 E-mail: toyama.2@nikkyoko.or.jp



PART 3

奨学事業

✿ 貸与奨学生募集	59
✿ 給付奨学生募集	61
✿ 大学給付奨学生（予約型）募集	65

令和5年度 貸与奨学生募集要項

勉学意欲がありながら経済的理由により修学困難な学生に対し奨学金を貸与する事業です。

1. **募集対象** 大学院、大学、短期大学、高等専門学校（第4学年以上）
及び専修学校専門課程に入学または在学者
2. **募集人数** 若干名
3. **貸与金額** 4年制大学 100万円
短大(2年制) 50万円

* 修業期間1年につき25万円を1人100万円を限度に無利息で貸与します。

【貸与例】

- ・ 4年制大学の2年生に貸与した場合（残存修業期間は2～4年生の3年間）
 $25\text{万円} \times 3\text{年間} = 75\text{万円}$ まで貸与可能
- ・ 2年制短期大学卒業後4年制大学の3年生に編入した場合（残存修業期間は3～4年生の2年間）
 $25\text{万円} \times 2\text{年間} = 50\text{万円}$ まで貸与可能
- ・ 4年制大学で2年生の時に75万円を貸与した奨学生が、大学院修士課程に進学した場合 すでに75万円貸与しているので、貸与上限100万円 - 75万円 = 25万円まで貸与可能

4. **貸与方法** 一括貸与します。（6月下旬の予定）
5. **返還方法** 卒業した年の12月から10年にわたる分割返済です。
（100万円未満は8年分割返済）
* 大学院に進んだ場合は、返済延期手続きは可能です。
* 年賦返済金が延滞したときは、延滞金を徴収します。
6. **申込期間** 令和5年2月21日（火）～令和5年4月28日（金）までです。
7. **申込方法** 本会事務局へ電話でお申し出ください。
その後、「貸与奨学金申込書」を提出してください。

[添付書類] 申込書のほか、以下の書類が必要です。あらかじめご準備ください。

- ・ 収入に関する証明書 [源泉徴収票又は市町村の所得証明書（コピー可）]
- ・ 在学証明書 [原本]

8. **その他**
 - ・ 債務者は奨学生本人です。連帯保証人は保護者等とし連帯債務を負います。
 - ・ 申請書類には、奨学生本人と親権者のそれぞれの自署捺印が必要です。
 - ・ 同一筆跡の場合は受理できませんのでご注意ください。
9. **選考と決定** 教育振興選考委員会で審査のうえ、決定します。

10. **送付先（問い合わせ先）** 〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 Tel.(076)464-3703

貸与奨学金申込書

年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会理事長 様
弘済会富山支部 支部長 様

貴会の貸与奨学金を受けたいので、申し込みます。

また、下記「個人情報の取扱いについて」の事項を確認し了承しました。

生徒	フリガナ		性別	生年月日	
	氏名	Ⓜ	男・女	昭和 平成	年 月 日 (満 歳)
	在学学校名	高等学校 高等専門学校 学校		学年	
	入学予定 学校名			年制	
親権者	フリガナ		性別	生徒との続柄	
	氏名	Ⓜ	男・女		
	現住所	〒		TEL	()
	勤務先	名称	所在地 〒	TEL	()
備考					

- (注) 1. 氏名は奨学生本人と親権者のそれぞれの自筆でお願いします。
2. 印鑑は生徒と親権者で、それぞれ別の印鑑を使用してください。
3. 備考欄には申込に当たっての特別な事情があれば記入してください。

家族記入欄(生徒本人は除く)

続柄	氏名	性別	年齢	勤務先等	備考

※「個人情報の取扱いについて」

- ・公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部(以下当会という)は、適正に取得した個人情報を当会の奨学事業の運営のために利用します。
- ・当会の個人情報保護については、当会のホームページをご覧ください。

受付	No.	年 月 日
----	-----	-------

令和5年度 給付奨学生募集要項

1. 応募資格

富山県の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）に在籍する第3学年の生徒とし、修学意欲がありながら、学資金の支払いが特に困難である者。

2. 推薦の条件

- (1) 家庭の事情で経済的援助が特に必要であること。
 - (2) 向学心に富み学業に耐えうる者であること。
 - (3) 生徒会活動（部活動も含む）に意欲的な者であること。
- ＊ 他の奨学金との併給も可。

3. 奨学金給付の内容

- (1) 給付金額 奨学生一人に対し10万円を給付します。
- (2) 募集人数 40名

4. 応募の手続き

- (1) 提出書類
 - ① 給付奨学生申請書・・・・・・・・・・・・・・・・（給奨学様式1）
 - ② 高等学校等給付奨学生推薦書（学校用）・・・・・・（給奨学様式2）
 - ③ 成績証明書・・・・・・・・・・・・・・・・学校の様式で厳封したもの
- (2) 応募期間 令和5年4月3日(月)～令和5年5月31日(水)（必着）
- (3) 書類提出先

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス中野内
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 宛

TEL 076-464-3703 FAX 076-464-9818

＊個人情報保護との関わりもありますので、取扱・送付に十分ご配慮願います。

5. 奨学生の選考

富山支部の教育振興事業選考委員会の選考を経て、支部長が推薦し本部理事長が決定した結果を、学校長経由で本人へ通知します。

6. 給付金交付

給付金は、学校長より生徒本人（親権者同伴）に手交します。

7. 成果報告書の提出

奨学金の給付を受けた者は給付後1月末日まで、学校を通して給付奨学生成果報告書（給奨学様式3）を富山支部長に提出することとします。

8. 奨学金の返還

奨学生が、次の事項のいずれかに該当したときには、ただちに給付金を返還するものとします。

- (1) 休学または退学したとき
- (2) 奨学生としてふさわしくない行為のあったとき

※

(給奨学様式1)

決定番号						
決定年月日	令和	年	月	日		

給付奨学生申請書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
 理事長 岩田 将之 様
 富山支部 支部長 青木 正邦 様

貴会募集の高等学校等給付奨学生としてご採用いただきたく、申請します。
 また、下記「個人情報の取扱いについて」の事項を確認し承しました。

生徒	フリガナ			性別	生 年 月 日	
	氏 名	Ⓜ		男・女	平成 年 月 日 (満 歳)	
	学校名	高等学校 高等専門学校 専修学校高等課程 その他	全日・定時・通信・ 専科・別科・他	学年	令和 年 入学 令和 年 卒業見込	
親権者	フリガナ					性別
	氏 名	Ⓜ				男・女
	現住所	〒				TEL ()
給付申請金額			その他	所得証明書(前年分の源泉徴収票「写」、確定申告「写」または納税証明書等)の提出をしていただく場合があります。		
備 考						

- (注) 1. 生徒欄は奨学生本人が自署してください。
 2. 親権者欄は親権者本人が自署してください。なお、申請時の年齢が18歳以上の場合、身元保証人について記入してください。
 3. 備考欄には、申請に当たっての特別な事情があれば記入してください。
 4. 「個人情報の取扱いについて」
- 当会は、適正に取得した個人情報を当会の奨学事業の運営のために利用します。
 - 当会の個人情報の取扱いについては、当会ホームページ(<https://www.nikkyoko.or.jp>)をご覧ください。

※印欄は記入しないでください。

令和5年度 大学給付奨学生（予約型）募集要項

1. 応募資格

富山県の高等学校等に在籍する第3学年の生徒で、修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者。

2. 求める学生像

将来、社会の発展に貢献したいという高い志のもと、自らの夢や目標を明確にもち、その実現に向け学び続ける者。

3. 推薦の条件 次の全ての要件を満たすこと

- (1) 県内高等学校等の最終学年又は高等専門学校第3学年に在学し、全国の国公私立大学（通信教育の学部・課程、短期大学、大学校は対象外）に進学を目指す生徒であること。
- (2) 家庭の事情により学費支弁困難（同一生計の収入合計金額400万円未満）と認められ、かつ修学意欲に富み、かつ学業を継続できると在学する高等学校等の校長の推薦を受けた生徒（1校1名まで）であること。
- (3) 在学期間における全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の生徒、又は特別支援学校高等部にあつては、校長が同程度の学力があると認める生徒であること。

4. 奨学金給付の内容

- (1) 給付金額 奨学生一人に対し月額3万円を給付します。（年4回振込、上限4年間）
- (2) 募集人数 4名
- (3) 実施期間 令和5年度大学入学生から令和8年度大学入学生までの4年間実施

5. 応募の手続き

- (1) 提出書類 ① 大学給付奨学生（予約型）申請書 ② 申請者情報及び身元保証人確認書
③ 個人情報の取扱いに関する同意書 ④ 世帯全員の所得証明書
⑤ 大学給付奨学生（予約型）推薦書 ⑥ 成績証明書 ※⑤⑥は学校作成

(2) 応募期間 令和5年8月1日（火）～令和5年9月15日（金）必着

(3) 書類提出先

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18 オフィス西中野内

公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部 宛

TEL 076-464-3703

FAX 076-464-9818

弘済会富山支部ホームページを参照願います。

6. 奨学生の選考

富山支部の選考委員の第1次選考（書類選考）、第2次選考（面接選考）を経て日本教育公務員弘済会理事長が奨学生内定者を選定し、高等学校等を通じて生徒本人に採用内定通知書を手交します。

7. 奨学生の採用決定

入学1年目の4月20日までに奨学生内定者が提出すべき書類（進学した大学の在学証明書、誓約書、振込依頼書）を提出した後、採用決定通知書が送付されます。

大学給付奨学生（予約型）申請書

(大給奨学様式1)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 様

1. 申請者（本人）情報

名前	フリガナ	生年月日
		西暦 年 月 日生 (年齢 歳)
学校名	国立・私立 ()立	課程 科
学内外の活動・特技・資格		
当会の貸与奨学金		<input type="checkbox"/> 申請予定 <input type="checkbox"/> 申請しない <input type="checkbox"/> 未定

2. 同一生計の家族及びその収入・所得に関する調査

同一生計 家族人数	人 ※下記項目に記入する人数と一致させてください。					
就学者を除く家族 (父母・祖父母等)	続柄	名前	年齢	収入・所得金額（年間）※正確に記入してください		
				給与収入 (年間収入(支払)金額)	年金等収入 (年間収入(支払)金額)	事業所得等 (所得証明書の所得金額)
				万円	万円	万円
				万円	万円	万円
				万円	万円	万円
※収入・所得は世帯全員の金額を1万円単位(千円以下切り捨て)で記入してください。なお、本人・兄弟姉妹のアルバイト収入は含めません。						
就学者 (兄弟姉妹)	続柄	名前	年齢	◇設置者	◇就学先 ※2	◇通学状況
	本人	—	—	国公立・私立	高・高専・専修高等・その他	自宅・自宅外
				国公立・私立	小・中・高・高専・専修高等 専修専門・短大・大学・大学院・その他	自宅・自宅外
				国公立・私立	小・中・高・高専・専修高等 専修専門・短大・大学・大学院・その他	自宅・自宅外
			国公立・私立	小・中・高・高専・専修高等 専修専門・短大・大学・大学院・その他	自宅・自宅外	
家庭事情等	下記の事項に該当する場合は、□にチェックを入れて＜ ＞内に続柄・人数・金額を記入してください。 <input type="checkbox"/> 一人親世帯である又は両親共に行ないない若しくは養育放棄である <input type="checkbox"/> 主たる家計支持者（父母等）が単身赴任している 続柄＜ ＞ <input type="checkbox"/> 同一生計の家族に障がいのある者がいる ＜ ＞人 続柄＜ ＞ <input type="checkbox"/> 同一生計の家族に長期療養を必要とする者がいる ＜ ＞人 続柄＜ ＞ 見込負担額＜ ＞万円（年間）					

捨印

※1 申請番号欄は事務局側で使用するので、記入しないでください。

※2 特別支援学校の場合には、該当する小・中・高等を選択します。

※3 この申請書は、申請者（本人）が手書きで記入します。

※1 申請番号

大学給付奨学生（予約型）推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 理事長 様

学校名 _____

校長名 _____ 公印

下記の生徒を貴会の大学給付奨学生として推薦いたします。

記

推薦する生徒

フリガナ			第 学年
名前		学年	(年次) (年度入学生)

推薦理由

1. 在学期間における全体の学習成績の状況（評定平均値）について

※高等学校における直近までの成績証明書を添付すること

2. 学業面・生活態度について

3. 本人の学校内外の活動(特別活動、部活動、ボランティア活動、取得資格、検定等)について

4. その他特記事項等（家計状況等）について（記載は任意）

※ 上記2から4について、1枚に収まらない場合は裏面に記載することも可

〔 福 祉 事 業 〕

- ・ 教弘保険加入者特典のいろいろ
- ・ 受給申請書



よつば先生とその仲間たち

令和5年度

教弘保険加入者特典のいろいろ

- 給付・補助の対象 ● 教弘保険加入者
- | | | |
|-------|-------|------------------|
| 教弘・基本 | 10口以上 | = 65歳以上で80歳まで = |
| ユース教弘 | 10口以上 | I種教弘 10口以上 |
| I種教弘 | 10口以上 | 新教弘K型 2,100円/月以上 |
| 新教弘S型 | 5口以上 | 教弘終身 10,000円/月以上 |

事業名	給付・補助内容	付 記
福 社 業	1. 結 婚 祝	祝金 10,000円 ・申請書に戸籍謄本添付（写し可）又は所属長証明
	2. 出 産 祝	祝金 10,000円 ・申請書に母子手帳「出生届出済証明」の写し添付
	3. 入 学 祝	大学・短大・専門学校・高専 10,000円 高校 5,000円 ・子女の入学に際し、祝い金を贈る ・申請書に①または②を添付 ①学生証コピー（6月末までの申請に限る） ②在学証明書（発行日から3か月以内・写し可）
	4. 弔 慰	香典 本人・配偶者・一親等 10,000円 ・本人死亡の場合は報告のみ（甲電有） ・配偶者・一親等（姻族を含む）の死亡の場合は申請書に会葬御礼状添付（写し可）又は所属長証明
	5. 健康増進補助【注1】	現職者 5,000円 退職者（友の会） 8,000円以内【注2】 ・人間ドック・健康診断受診に対し、年度1回に限る ・現職の場合は自己負担総額7,000円以上が対象 ・人間ドック・健康診断受診の領収書を添付（写し可） 【注2】令和6年4月1日受診より5,000円以内の補助になります。
	6. 指定宿泊施設利用補助	本人1泊 3,000円 同行の同居の家族1名のみ 1泊 1,000円 ・弘済会が指定する宿泊施設に限る（別ページ参照） ・年度5泊まで ・施設に予約の後、宿泊日の10日前までに弘済会に連絡
	7. 鑑賞・観戦補助	◎観覧券 ・弘済会指定の鑑賞・観戦に限る ・申し込み多数の時は抽選により決定
そ の 他	・ 特別協力校(園)記念品 (申請不要)	◎記念品贈呈 ・教弘保険加入者が60%以上の学校（幼稚園）に贈る
	・ 加入継続記念品 (申請不要)	◎記念品贈呈 ・教弘保険に加入後、同一保険が満10年・20年・30年に達した継続者に贈る（グループ保険を含む） ・新規加入・ユース教弘移行・退職（60歳）継続者に贈る

◎は株式会社富山教弘の事業です。

【注1】現職者・退職者（友の会）とも健康増進補助は令和6年度より2年連続の申請は不可となります。

【注2】退職者（友の会）の健康増進補助は、令和6年4月1日受診より5,000円以内の補助になります。

- ・弘済会旅行補助は新型コロナウイルス感染症収束後に検討します。
- ・1.2.3.4.5の各項の給付・補助希望者は、弘済会事務局へ。申請書は事由発生から1年以内に提出して下さい。
- ・申請は「事由発生時」「申請時」とともに給付・補助の対象である者となります。
- ・申請書は弘済会富山支部ホームページからダウンロードできます。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部 TEL 076-464-3703

株式会社 富 山 教 弘 TEL 076-461-6614

〒939-8084 富山市西中野町1-1-18(オフィス西中野内)

(令和5年4月1日)

令和5(2023)年度 受給申請書

公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 様

申請日 年 月 日

<会員区分>

<input type="checkbox"/>	勤務先
<input type="checkbox"/>	職員コード*

<input type="checkbox"/>	再任用
<input type="checkbox"/>	退職者

申請者名 (歳)

住 所

①下記の通り給付・補助の申請をします(申請する事業名の口にチェックをつけて下さい。)

事業名	科 目	添付書類
<input type="checkbox"/> 出 産 祝	出生年月日 (西暦) 年 月 日 (第 子)	母子手帳の 生届出済証明 記載ページの写し
<input type="checkbox"/> 入 学 祝	入学年月 (西暦) 年 月 入学者名 (続柄) 入学学校名	①学生証コピー (6月末までの申請に限る) ②在学証明書 (発行日から3か月以内・写し可)
<input type="checkbox"/> 健康増進 補 助	受診年月日 (西暦) 年 月 日 受診医療機関名	ドック・健診の 領収書(写し可)

所属長の証明印は不要です

※令和6(2024)年度より健康増進補助の変更を予定しております。

事業名	科 目	添付書類
<input type="checkbox"/> 結 婚 祝	結婚年月日 (西暦) 年 月 日 申請者旧氏名	戸籍謄本(写し可) 又は 所属長の証明印
<input type="checkbox"/> 家族弔慰	死亡年月日 (西暦) 年 月 日 死亡者氏名 (続柄)	会葬御礼状(写し可) 又は 所属長の証明印

証 明 欄

上記記載事項を証明します。

年 月 日 学校(所属)名
学校(所属)長名

職印

②下記の口座で受給金を受け取ります(記載の口座に送金します。記入漏れのないようにお願いします。)

金融機関名	支店名(いずれかに○)	預金 種目	口座番号(右詰でお願いします)	フリ ガナ
北陸銀行	本店・支店	普通	口座 名義
	出張所			
	営業部			

提出前に
必ずご確認
ください

- ①の 添付書類はそろっていますか?
- ②の 受給金を受け取る口座は記入されましたか?

(送付先)
〒939-8084 富山市西中野町1-1-18(オフィス西中野内)
公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部 宛

「申請について」

申請書は、事由発生より1年以内に左記へ送付願います。
申請は「事由発生時」「申請時」ともに給付・補助の対象である
者とし、月末で締め、審査の上翌月10日に送金します。
この申請書は、当会ホームページからダウンロードできます。

「個人情報の取り扱いについて」

ご記入いただきました個人情報は当会の福祉事業の運営のために利用します。
当会の個人情報の取り扱いについては、当会ホームページをご覧ください。

事務局使用欄	弘済会受付	福祉事業対象者確認	決定支給額
			円

